

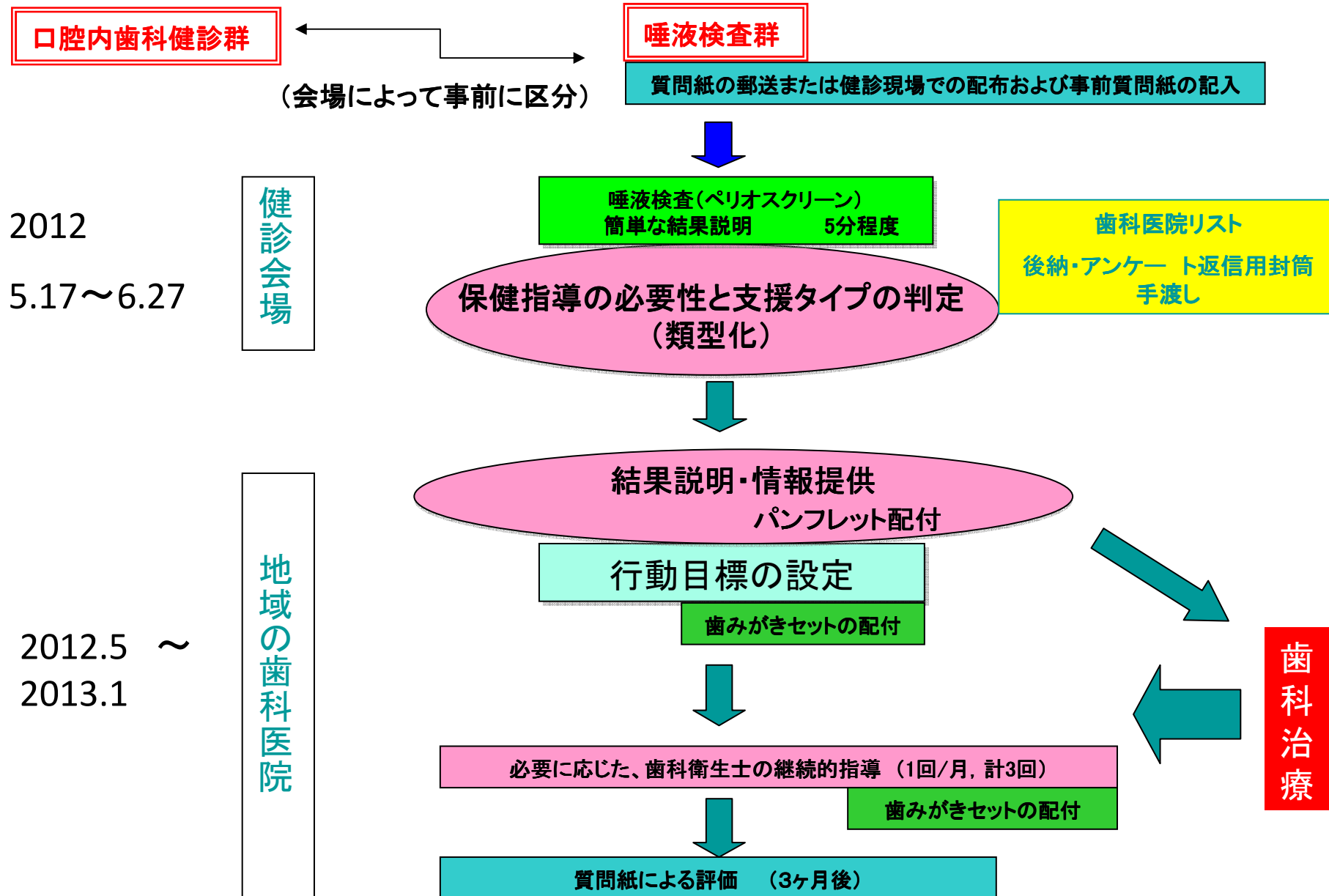
地域保健事業の一環として歯科医院 における生活歯援プログラムの導入例

新潟県・燕歯科医師会の事例

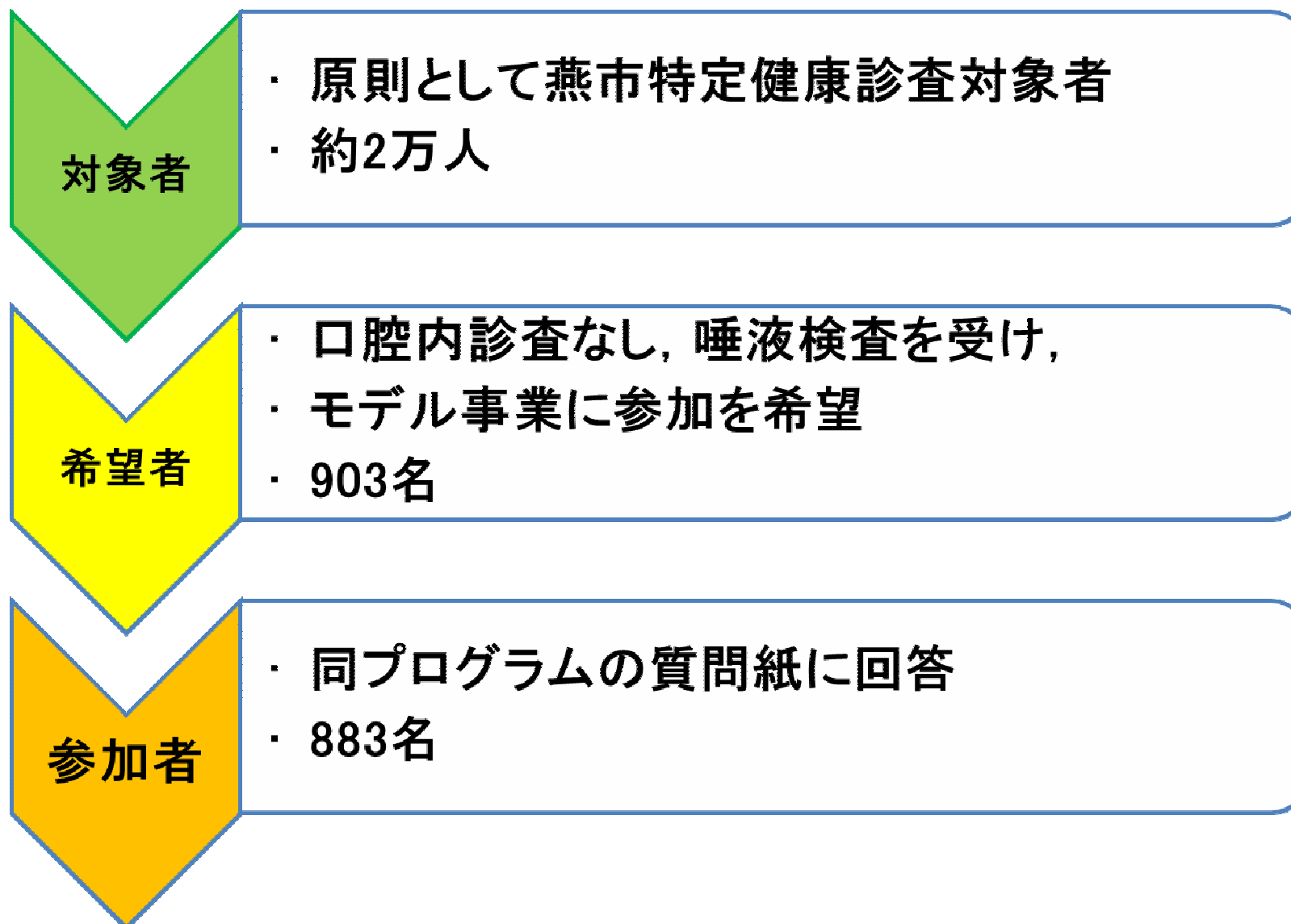
地域における 生活歯援プログラムモデル事業

- 歯科医療機関における歯の健康づくりの
効果的な支援事業が展開されました。
- 時期・場所：平成24年度，燕市（新潟県）
- 実施主体： 新潟県
- 委託先： 新潟県歯科医師会
および燕歯科医師会

生活支援プログラムモデル事業(燕市)



地域における生活歯援プログラムモデル事業



地域における生活歯援プログラムモデル事業

1回目質問票の記入

受診前に質問票へ記載 → (唾液潜血試験)

間接歯科健診会場

第1回歯科健診(口腔内診査なし) → 健診結果説明

質問票の記載結果に基づいて、
歯科保健指導実施のための類型化診断

歯科医療機関におけるプログラムの内容について

- ✓ 「あなたの歯の健康力」の見方を説明します。
- ✓ リスクに応じた保健指導を提供します。
- ✓ 歯科医師による口腔内診査を(希望があれば)行います。



燕市モデル事業

保健指導

歯科医療機関

- 相談・カウンセリング型: 個人面談等による健康相談
- 環境・受け皿整備型: 歯科受診動機付け支援
- 歯科衛生士・歯科医師と一緒に行動目標を立てる

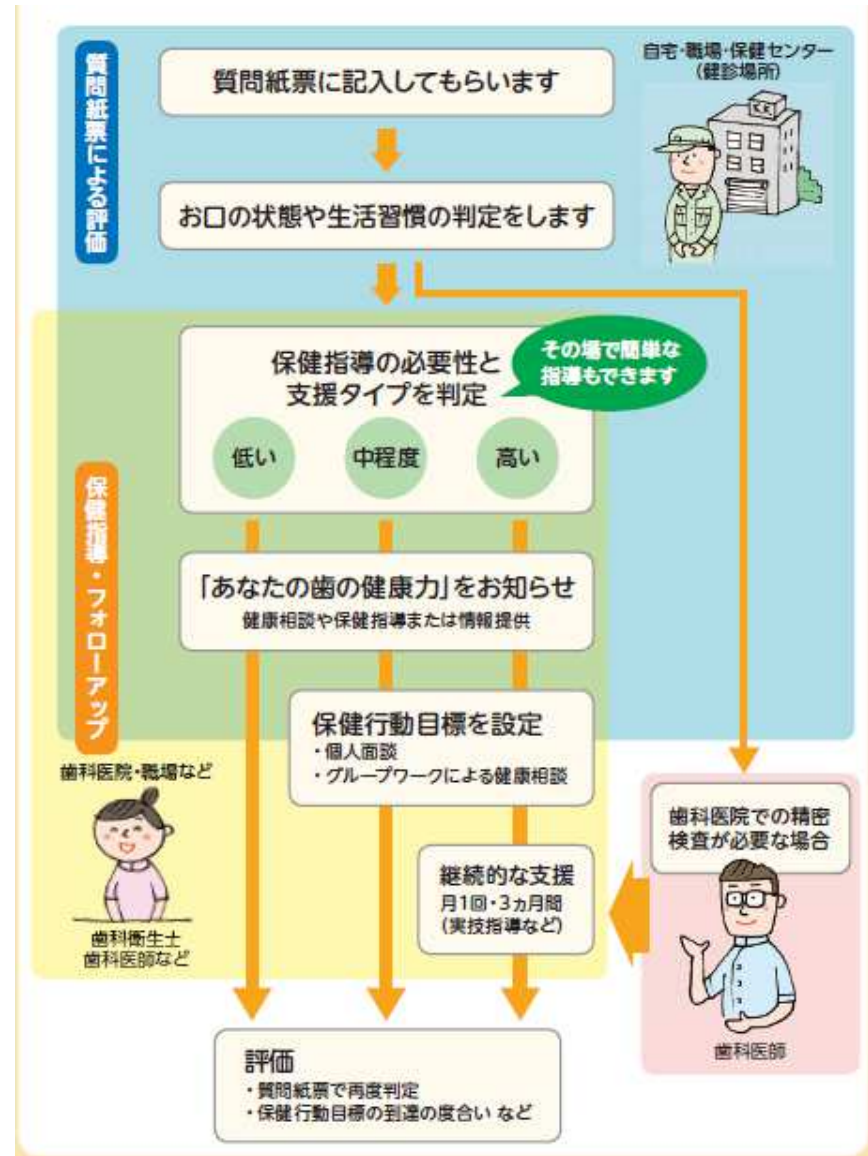
実技指導型: 保健指導・実技指導

月1回 3ヶ月間 実技指導による保健指導
 ※来院ごとに歯ブラシなど指導に使用するものを提供

2回目質問票の記入

評価: 質問紙調査、事後アンケートの実施

生活歯援プログラムの流れ



地域における生活歯援プログラムモデル事業 事前の説明会と研修会

【説明会】

- 対象：燕歯科医師会員

【研修会・PC研修会】2日間

- 対象：歯科医療機関のスタッフ、
在宅（地域活動登録）歯科衛生士

【受託歯科医療機関に対して配布】

- 事業の実施に必要な資料や提出書類

地域における生活歯援プログラムモデル事業

類型化：保健指導の必要性

必要性	人数	割合 (%)
低い	31名	3.5%
中程度	124名	14.0%
高い	342名	38.7%
要精査 (口腔内症状 に自覚あり)	386名	43.7%

地域における生活歯援プログラムモデル事業

- プログラム参加者883名のうち181名が歯科医療機関に行き診療を受けました。

受診率 $181 / 883 = \underline{20.5\%}$

【参考】前年度 = 23.1%

$20.5 - 23.1\% > \text{特定健診}(13.1\%)$

- このプログラムを特定健診に組み込んだとした場合、その受診率を高める可能性が示唆されました。
- 歯の健康づくり＋全身の健康向上の支援

「介入効果」に関する考察

- 口腔症状・歯科保健行動の改善に有効
 - 従来の報告と同様
 - 岩本ら(2010): 全国の事業所(4箇所)
 - 佐々木ら(2011): 北海道の事業所等(29箇所)
- 性差がなかったことについて
 - 男女で受診動機が大きく異なっても、効果は同等

- 地域保健の一環として、歯科医院で行われた生活歯援プログラムの受診率は比較的高く、受診者の特性は男女で異なっていました。
- 同プログラムの実施により、口腔症状・歯科保健行動の改善が認められましたが、性差はありませんでした。



働く人のための歯の健康づくり 支援モデル事業

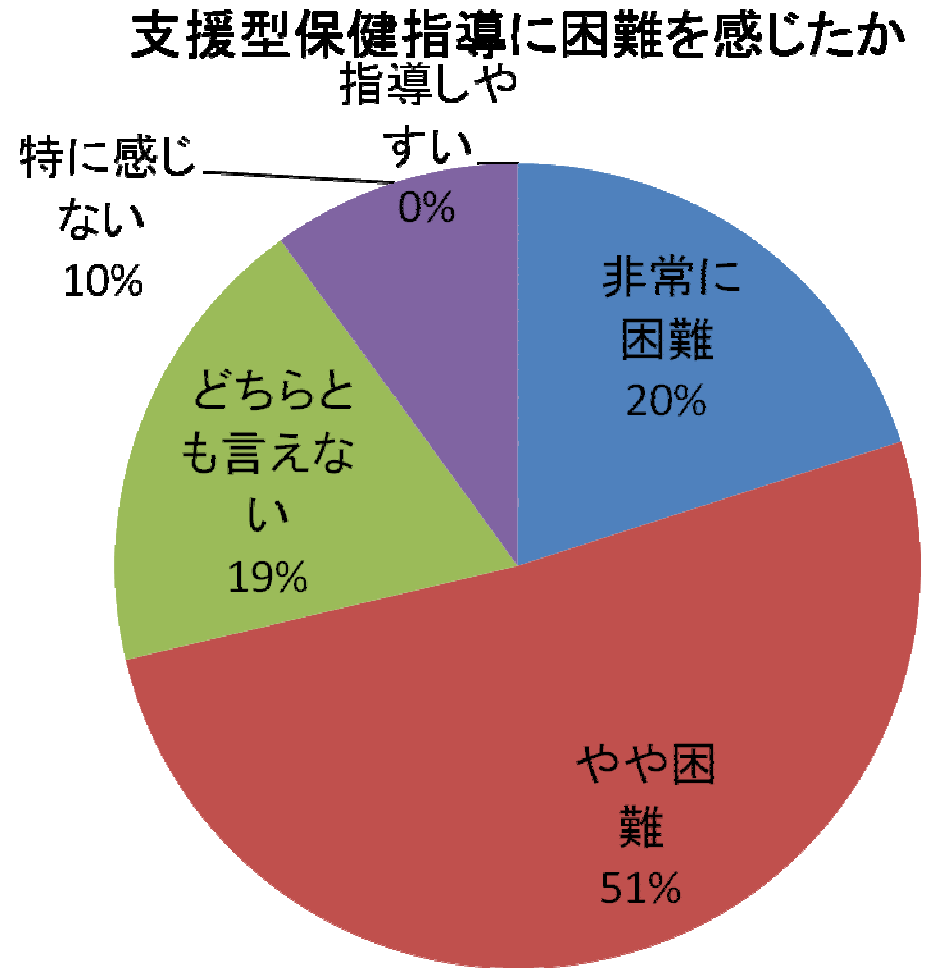
保健指導従事者向けアンケート回答結果

対象：平成24年度実施の燕市及び胎内市での保健指導事業に従事した
歯科医師、歯科衛生士等 87名

回収方法：郵送による回収

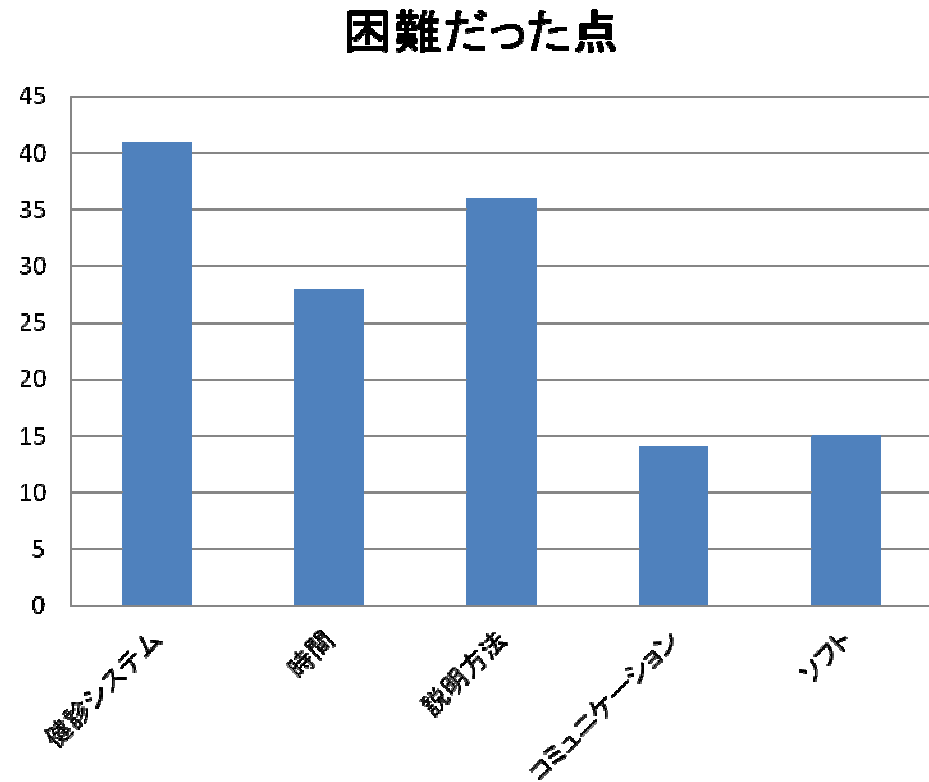
支援型保健指導に対し困難を感じましたか。

	人数
非常に困難と感じた	16
やや困難と感じた	41
どちらともいえない	15
特に困難さは感じなかった	8
指導しやすい方法だと感じた	0



どのような点が困難でしたか (複数回答あり)

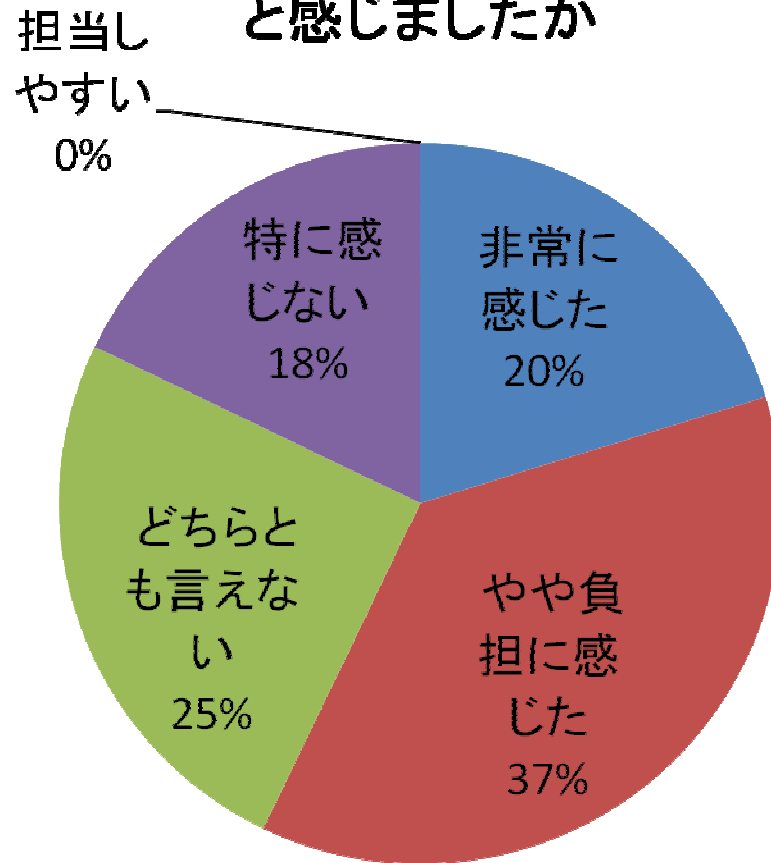
	人数
健診システムの複雑さ	41
時間の確保	28
対象者への説明方法	36
対象者とのコミュニケーション	14
評価ソフトの取り扱い・入力	15



支援型保健指導の担当者となって負担を感じましたか

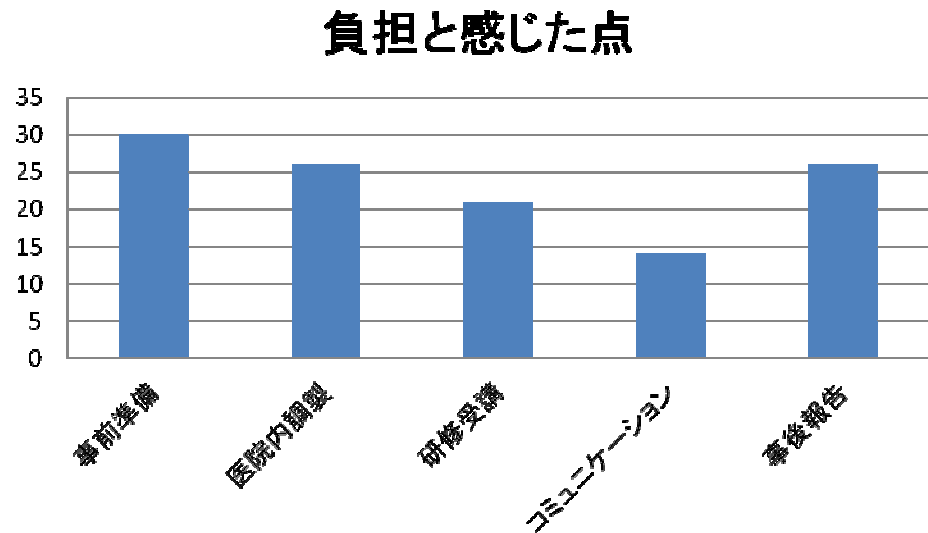
	人数
非常に負担を感じた	17
やや負担を感じた	31
どちらとも言えない	21
特に負担を感じなかった	15
担当しやすい健診だと思った	0

支援型保健指導の担当を負担と感じましたか



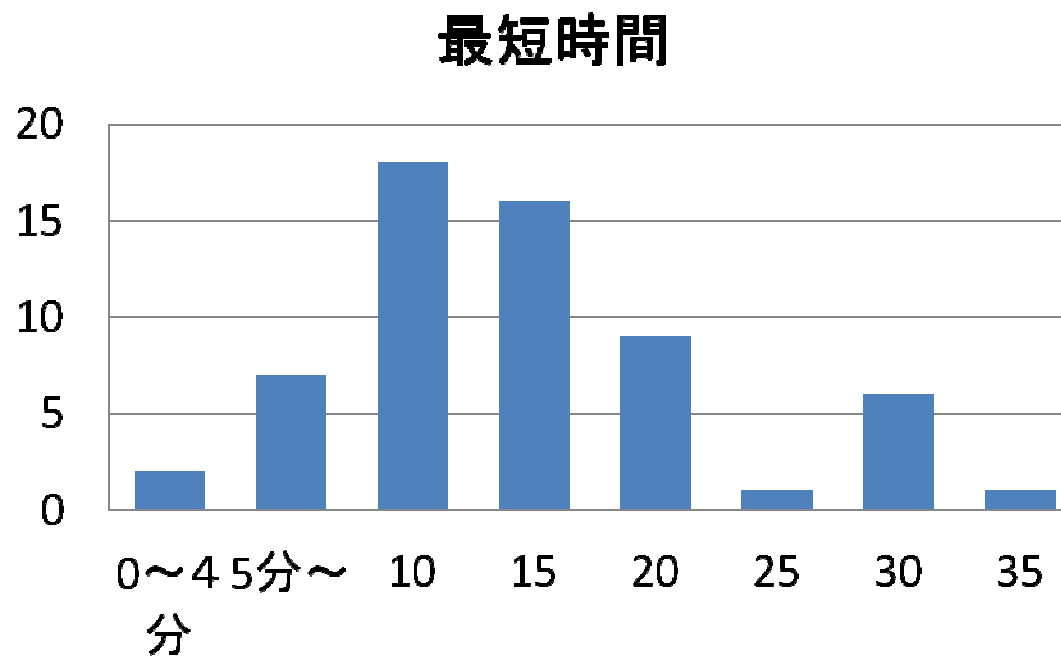
「負担」と回答の方どのような点で負担と感じましたか(複数回答あり)

	人数
事前の準備	30
院内での調整	26
研修の受講	21
対象者とのコミュニケーション	14
事後の報告	26



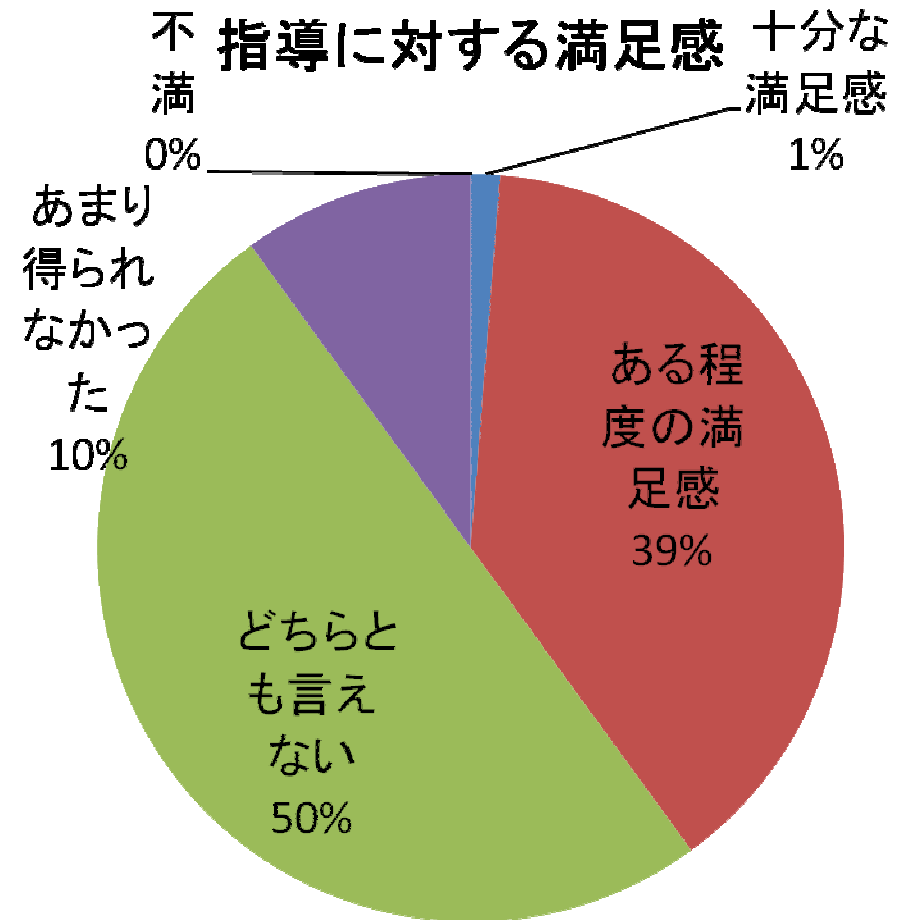
保健指導最短時間

時間	人数
0~4分	2
5~10分	7
10~15分	18
15~20分	16
20~25分	9
25~30分	1
30~35分	6
35分以上	1



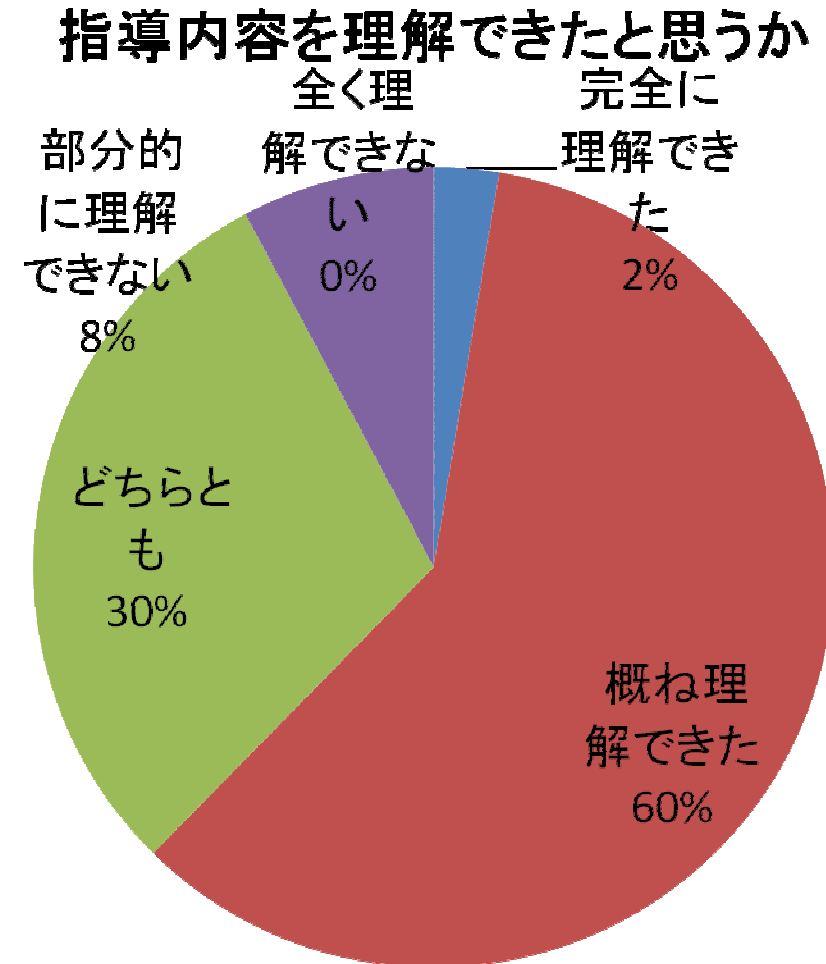
実施した指導に対し対象者は満足を得られたと思われませんか

	人数
十分な満足感を得られた	1
ある程度の満足感を得られた	31
どちらとも言えない	40
あまり得られなかったと思う	8
不満があったと思う	0



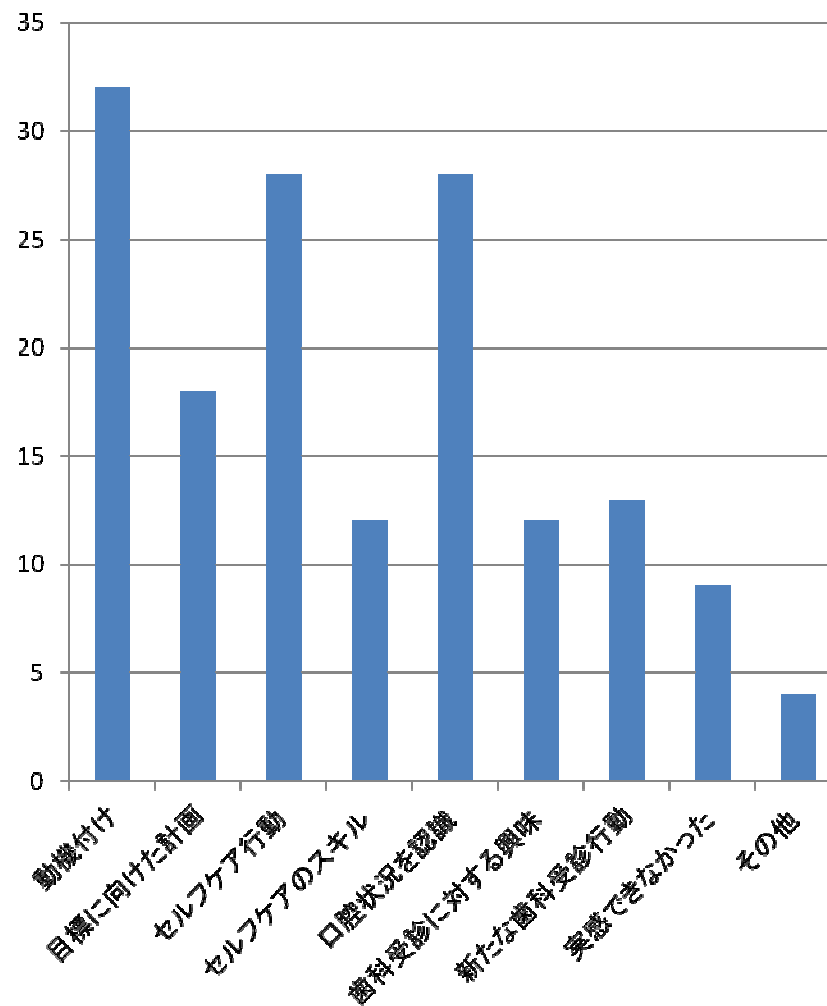
対象者は指導内容を理解できたと思いますか

	人数
完全に理解できたと思う	2
概ね理解できたと思う	46
どちらともいえない	23
理解できない部分があったと思う	6
全く理解できなかったと思う	0



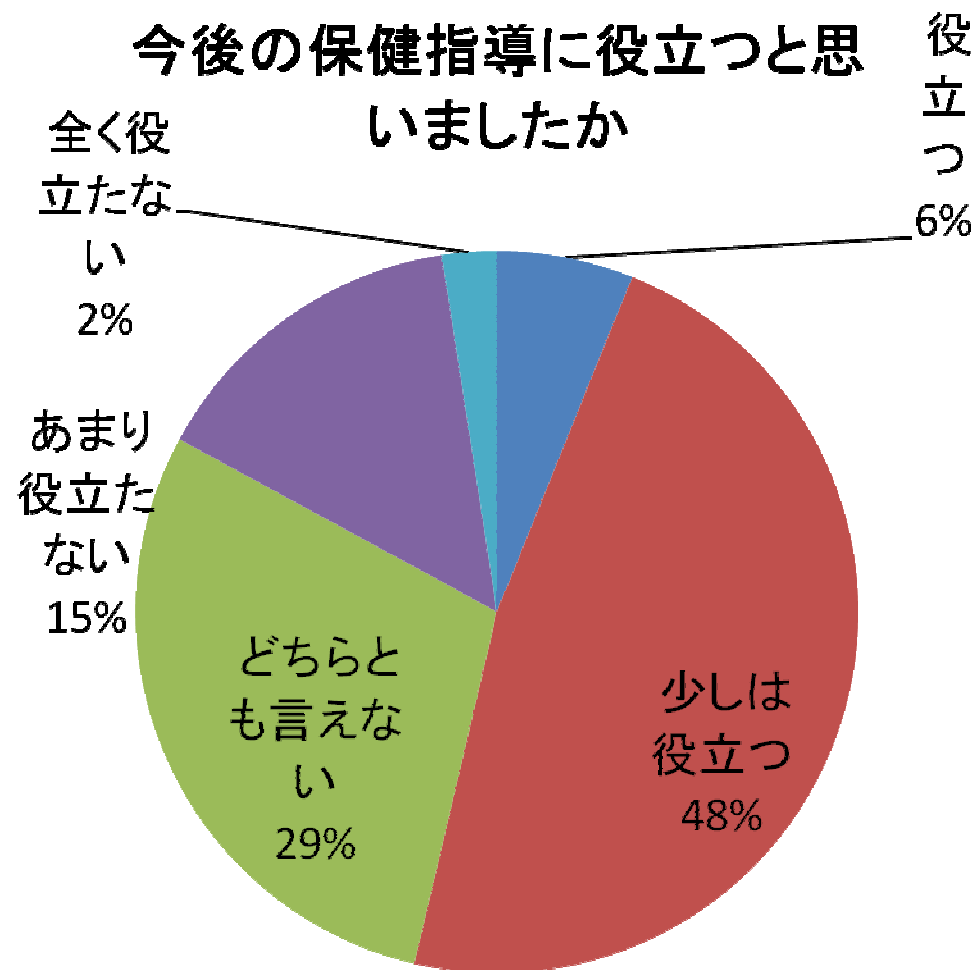
指導を担当して自身が指導効果として実感できたもの (複数回答)

	人数
動機付けができた	32
目標に向けた計画を認識した	18
新たなセルフケア行動を起こした	28
セルフケアのスキルが上がった	12
対象者自身の口腔状況を認識できた	28
歯科受診に対する興味がわいた	12
新たな歯科受診行動を起こした	13
何も実感できなかった	9
その他	4



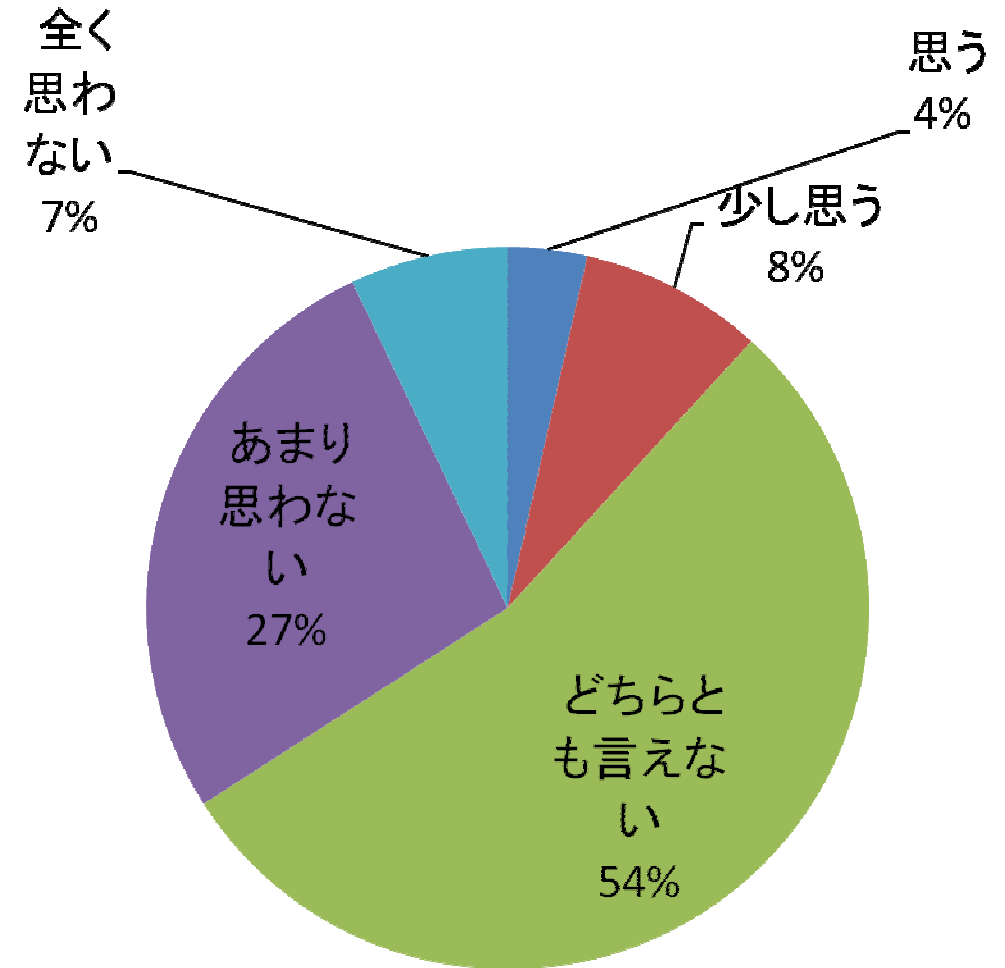
支援型保健指導が今後の保健指導業務に 役立つと思われましたか

	人数
役立つと思う	5
少しは役立つと思う	39
どちらとも言えない	24
あまり役立つとは思えない	12
全く役立つとは思えない	2



従来の保健指導と比べて効果的と思いましたがか

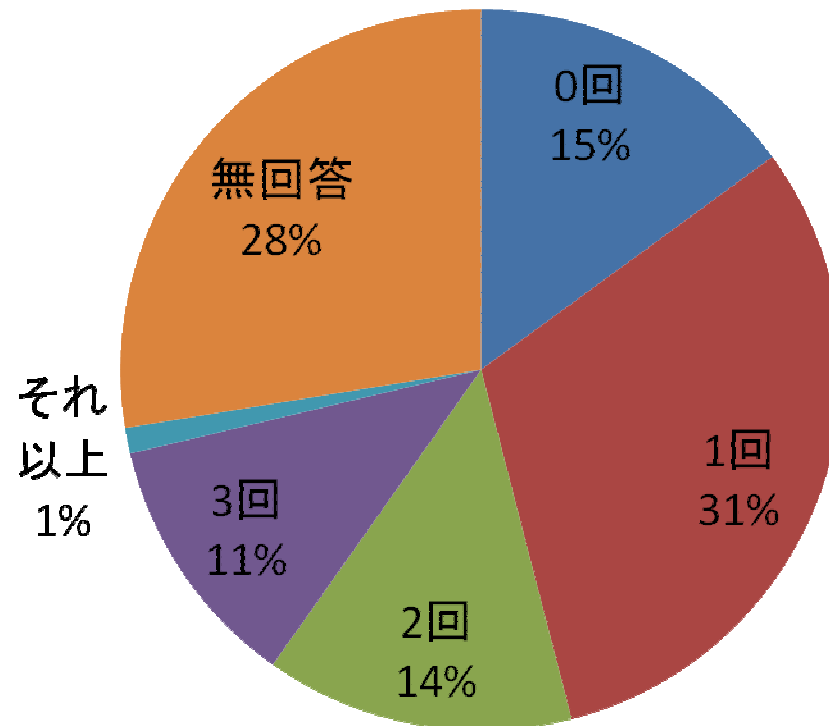
	人数
思う	3
少し思う	7
どちらとも言えない	46
あまり思わない	23
全く思わない	6



関係研修会への出席回数

	人数
0回	13
1回	27
2回	12
3回	10
それ以上	1
無回答	24

研修会出席回数



燕市におけるモデル事業を終えて

- 対象地域の特性
- 会員およびスタッフの意見や感想
- 研修会の必要性
- ITを含め設備の準備
- 市町村行政のフォロー